

SDGs3

全ての人に健康と福祉を

2年4組3番

SDGs 3 すべての人に健康と福祉を

<なぜこの目標をかかげたのか>

日本では病気や怪我で当たり前で病院で治療を受けることができますが、海外ではお金がなく、平等に医療を受けられずは限りません。そしてあらゆる年齢のすべての人が元気に暮らせる世の中を目指しています。だからこの福祉を促進させ、1人でも多くの人を救うべく、持続可能な開発目標がかかげられました。

<今の世界の現状>

世界では5歳になる前に命を落としてしまう子供が年間約530万人もあり、南アフリカでは13人に1人の子供が5歳未満で亡くなっています。その原因が肺炎や感染症です。世界が協力して感染症の予防に取り組んできたことで感染する人は減っていますが、まだ命を落とす人が多くいるのが現実です。すべての人が正しい予防法をきちんと知ることによって健康で長生きできる社会をつくることができます。

<十分な医療を受けるために>

日本では病院にかかるときに使う健康保険は医療費のうち自分では分割を払い、残りの割りを国民全員が払う保険料でまかなう制度です。そのため、自分が払う医療費が安くなり、だれもが治療を受けやすくなっています。途上国では、このような福祉のサービスが整っていません。貧しい人たちは病院にお金がないから病気や怪我の治療を受けられずいます。また、検査や手術の設備がない、薬がない、医者がいないなどの問題があり、これも解決していかなければなりません。

<実際の取り組み>

ウガンダではトイレの後や食事の前、外出先から家に帰ると、「石鹸で手を洗う」という日本では当たり前の習慣がありませんでした。そのため日本ユニセフ協会と協力し、2010年よりウガンダで「100万人の手洗いプロジェクト」をスタートさせました。水道が整備されていないところでも手洗いができるように簡易手洗い設備を普及させ、子供たちや大人に手洗いの重要性を伝えてきました。その次にスタートしたのが「病院で手の消毒100%プロジェクト」というもので、サトウキビを原料としたアルコール手指消毒剤を生産、病院や公共施設などに販売し「手の衛生」という考え方を広めてきました。

<わたしたちができること>

普段、わたしたちは健康であるために手洗い、うがいをしています。手洗い、うがいは自分が病気になるのを防ぐだけでなく、他の人にうつしてしまふことも予防できます。他にも病気にならないためには栄養のとれる食事をとることも大切だと思います。そこで私は日本で昔から伝わる味噌汁が手軽にとれる栄養価の高い食べ物であると考えました。味噌の主原料である大豆は良質のたんぱく質を多く含む食品です。味噌は発酵によって大豆にはないアミノ酸やビタミンなどが多量に生成され、栄養的にさらに優れたものになっています。その他の食物繊維や炭水化物など多くの栄養素を含んでいます。ひとりの食品でこれほどたくさんの栄養を含むものは他にはありません。味噌汁の中に入れておく食べられているわかめは食物繊維が豊富に含まれており、他にもカルシウムなどのたくさんの栄養素が含まれています。その他にも豆腐や卵、たくさんの野菜を味噌汁に入れることでおいしくて栄養のとれる食事を食べることもできます。わたしたちができることは他にもあります。発展途上国に住む人のためのワクチンを作るためにポットボトルキャップの回収などがあります。これなら、お金を持っていない子供でも協力することが出来ます。

<感想>

私はSDGsについてこんなに詳しく調べたのは初めてでした。調べていくうちに、発展途上国の厳しい現実を見て、日本で私にも不自由なく医療を受けられているわたしたちにとっても恵まれていると改めて実感したと共に、まだまだ医療を受けられていない人がたくさんいることに胸が痛みました。それに、アフリカで手洗い、うがいの習慣がなかったことや、消毒がなかったことにもおどろきました。これらを習慣づけて、少しでも感染症にかかる人や、小さい頃に命を落としてしまうようなことが減って欲しいです。そして、2030年までにこの問題が解決できるのはわたしたちができることを考え、実践していきたいと思っています。